平成30年度決算概要

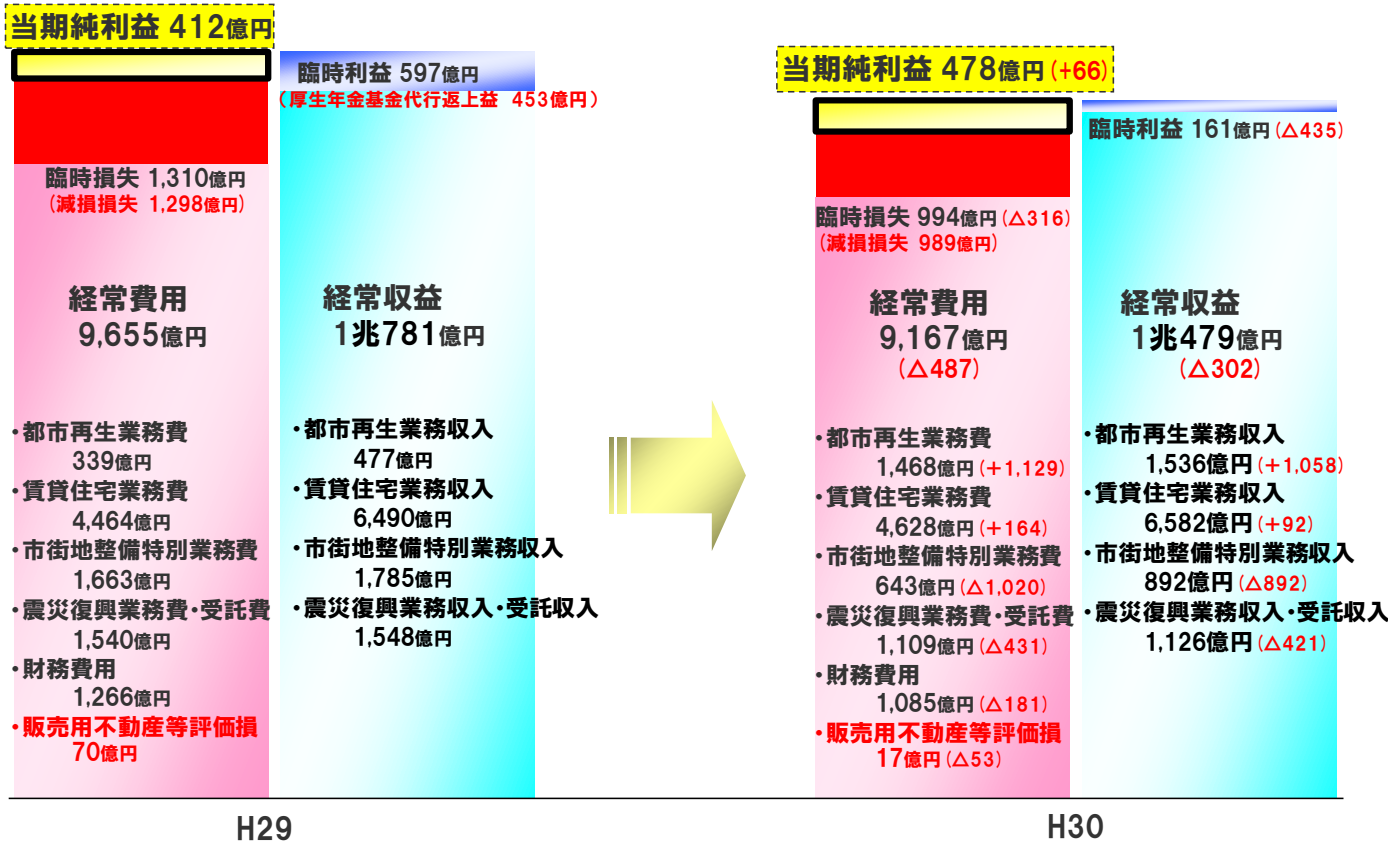
街に、ルネッサンス

UR都市機構

1　経営成績

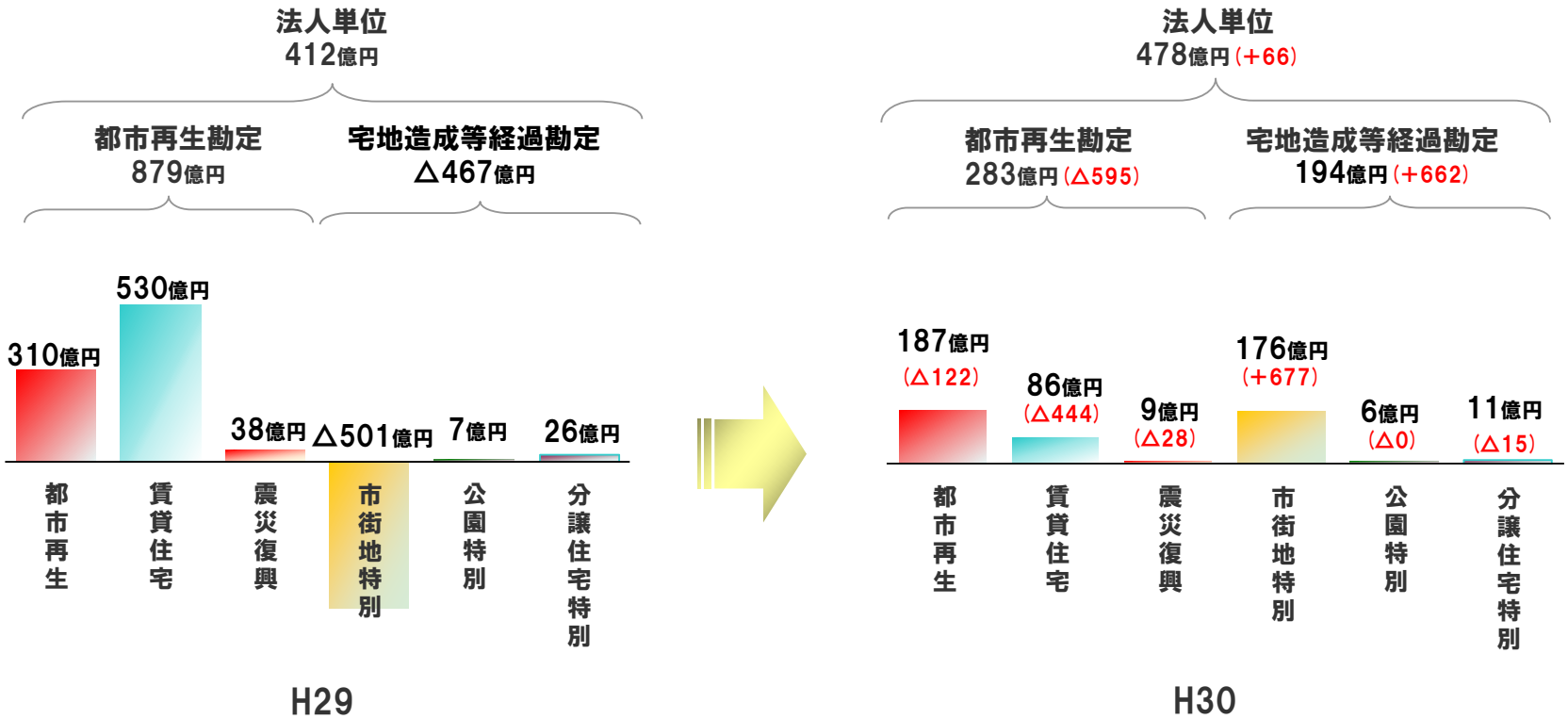
（1）法人全体

平成30年度は、経常収益を1兆479億円（対前年度△302億円）、経常利益を1,311億円（対前年度＋185億円）計上。臨時損失を994億円計上した結果、**478億円の当期純利益**を計上。



（※）単位未満切捨て

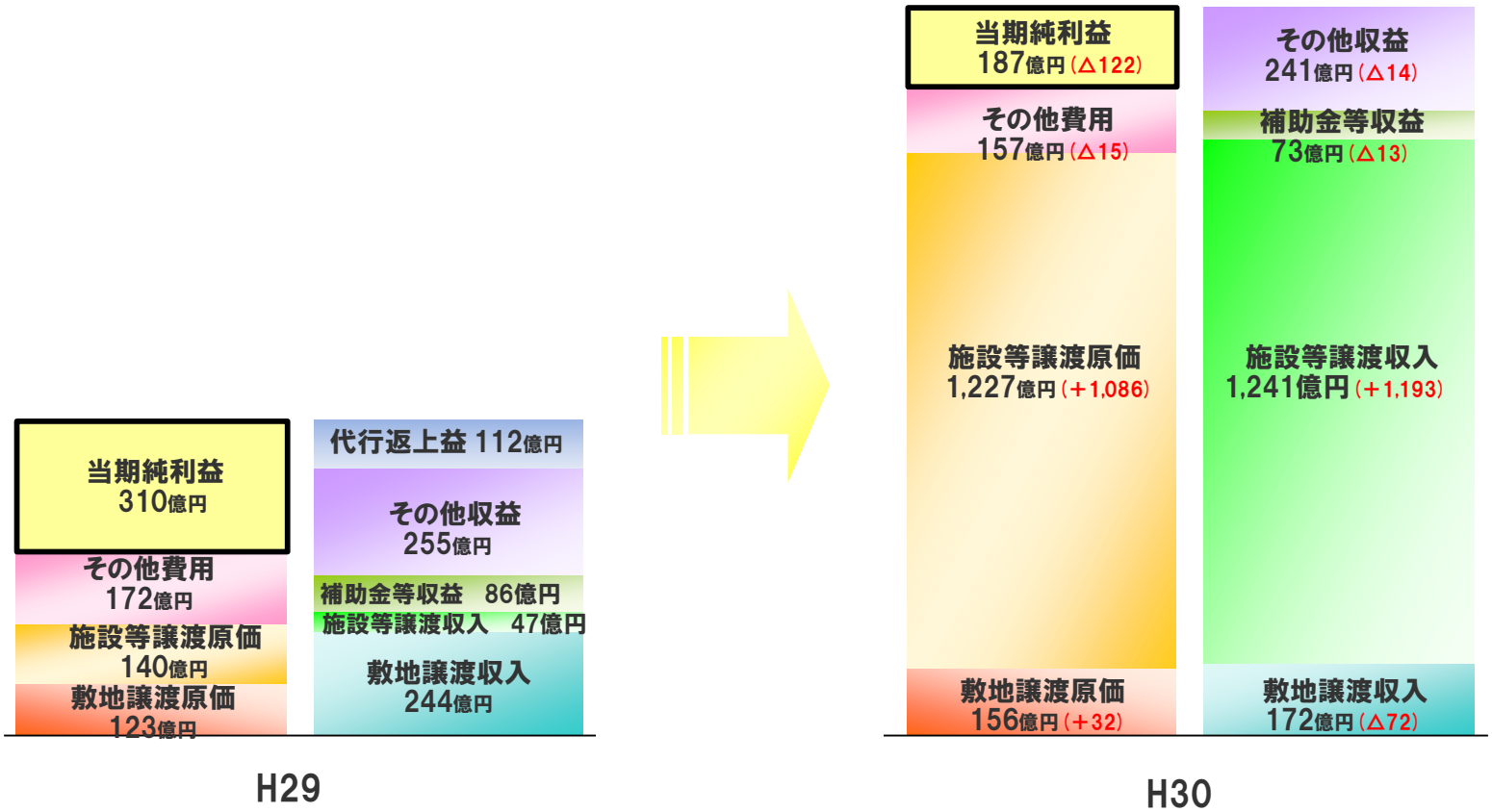
（２）セグメント別



（※）単位未満切捨て

（３）都市再生

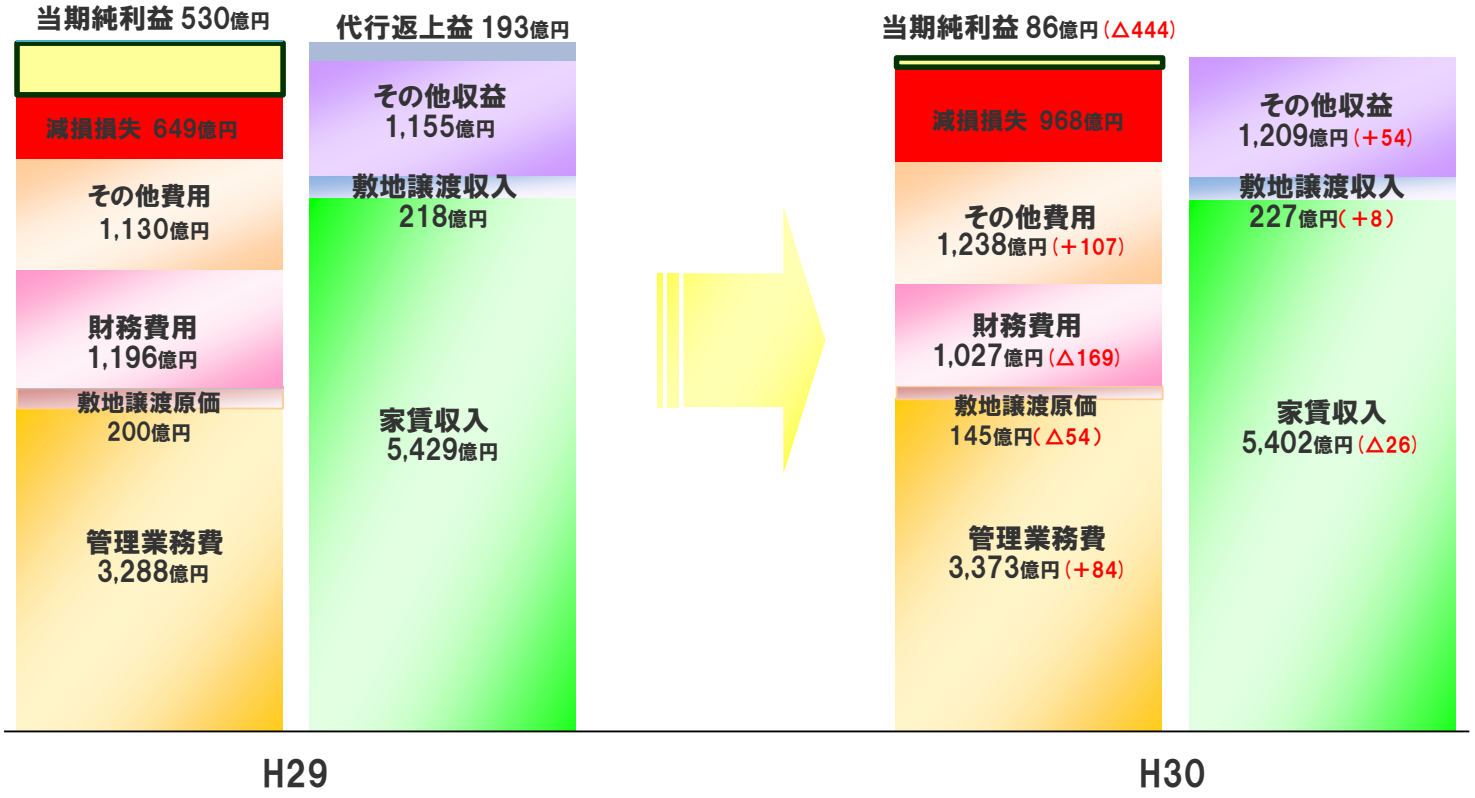
都市再生セグメントは、大型譲渡物件の引渡により、施設等譲渡収入を1,241億円計上。保有資産の売却を着実に進めたことにより、**187億円の当期純利益**を計上。



（※）単位未満切捨て

（４）賃貸住宅

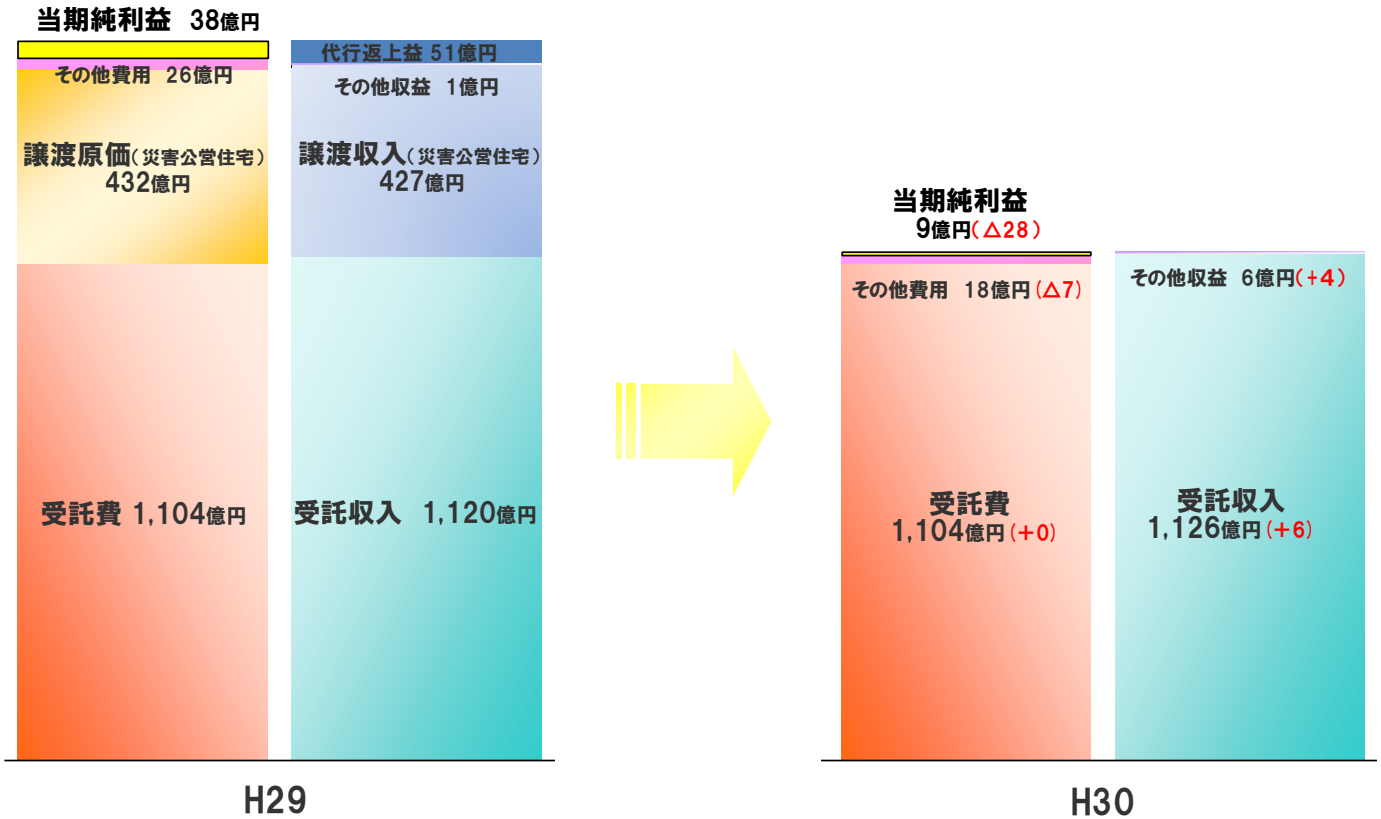
賃貸住宅セグメントは、営業活動の強化を図り収益の確保に努めたことにより、家賃収入を5,402億円計上。団地価値向上のための計画修繕前倒し等により管理業務費が増加、また、ストック再生・再編の推進等に伴う減損損失を計上した結果、**86億円の当期純利益**を計上。



（※）単位未満切捨て

（５）震災復興

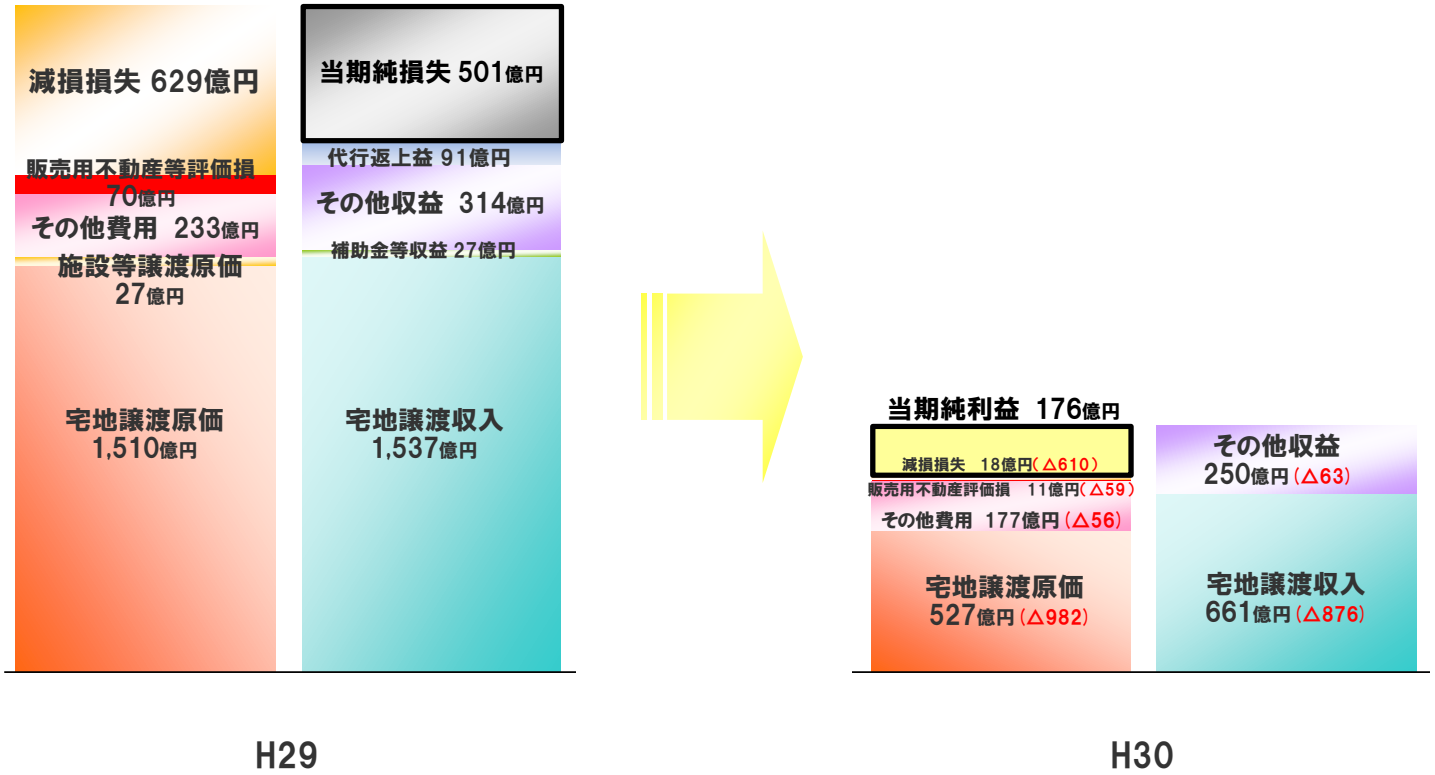
震災復興セグメントは、災害公営住宅の引渡を概ね完了。復興市街地整備の進捗により、受託収入を1,126億円計上した結果、**9億円の当期純利益**を計上。



（※）単位未満切捨て

（６）市街地特別

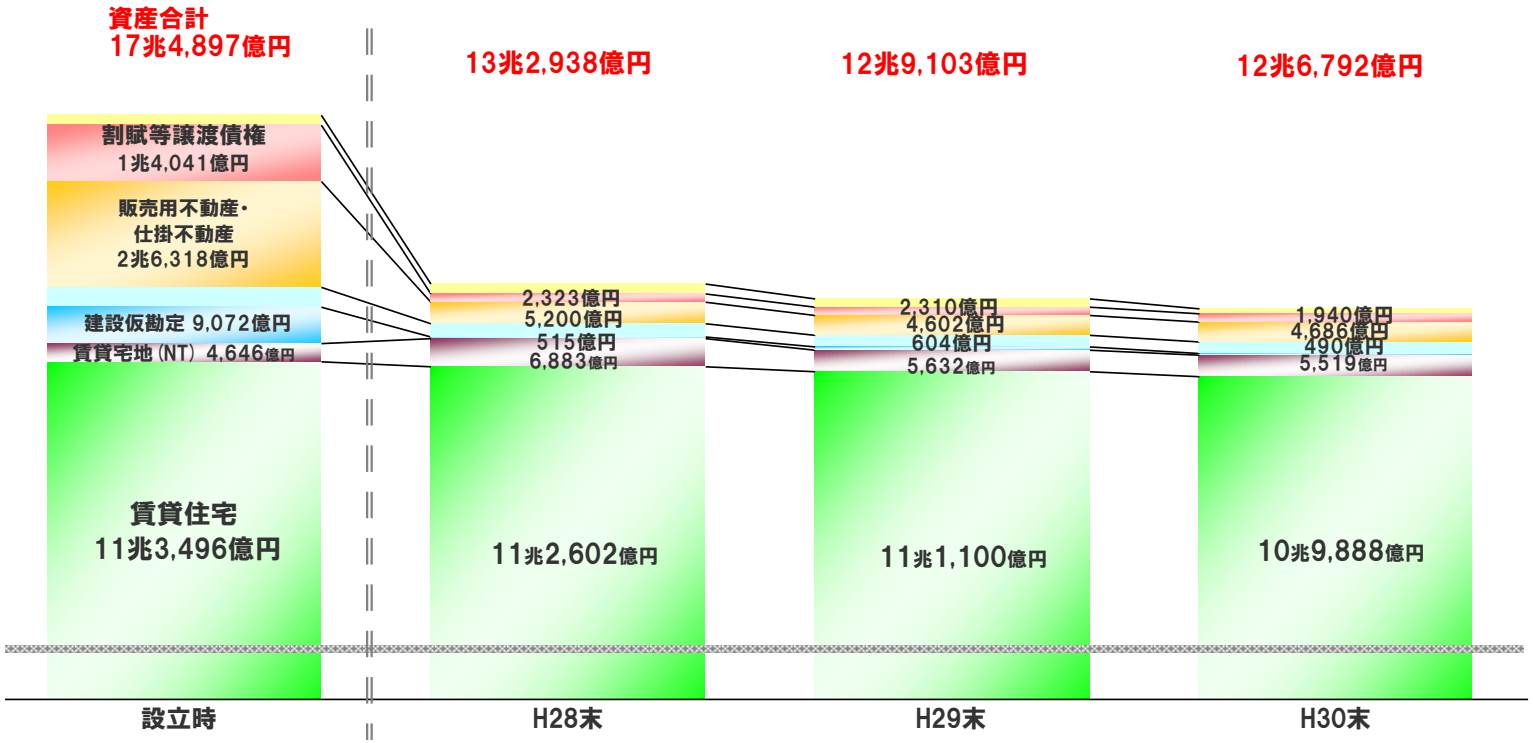
市街地特別セグメントは、宅地の供給・処分完了に向けて販売活動の強化や賃貸宅地資産の圧縮に努めたことにより、宅地譲渡収入を661億円計上した結果、**176億円の当期純利益**を計上。



（※）単位未満切捨て

（１）資産の状況

総資産は、販売用不動産の譲渡等により、前年度末に比べ約2,300億円減少し、**約12.6兆円**。

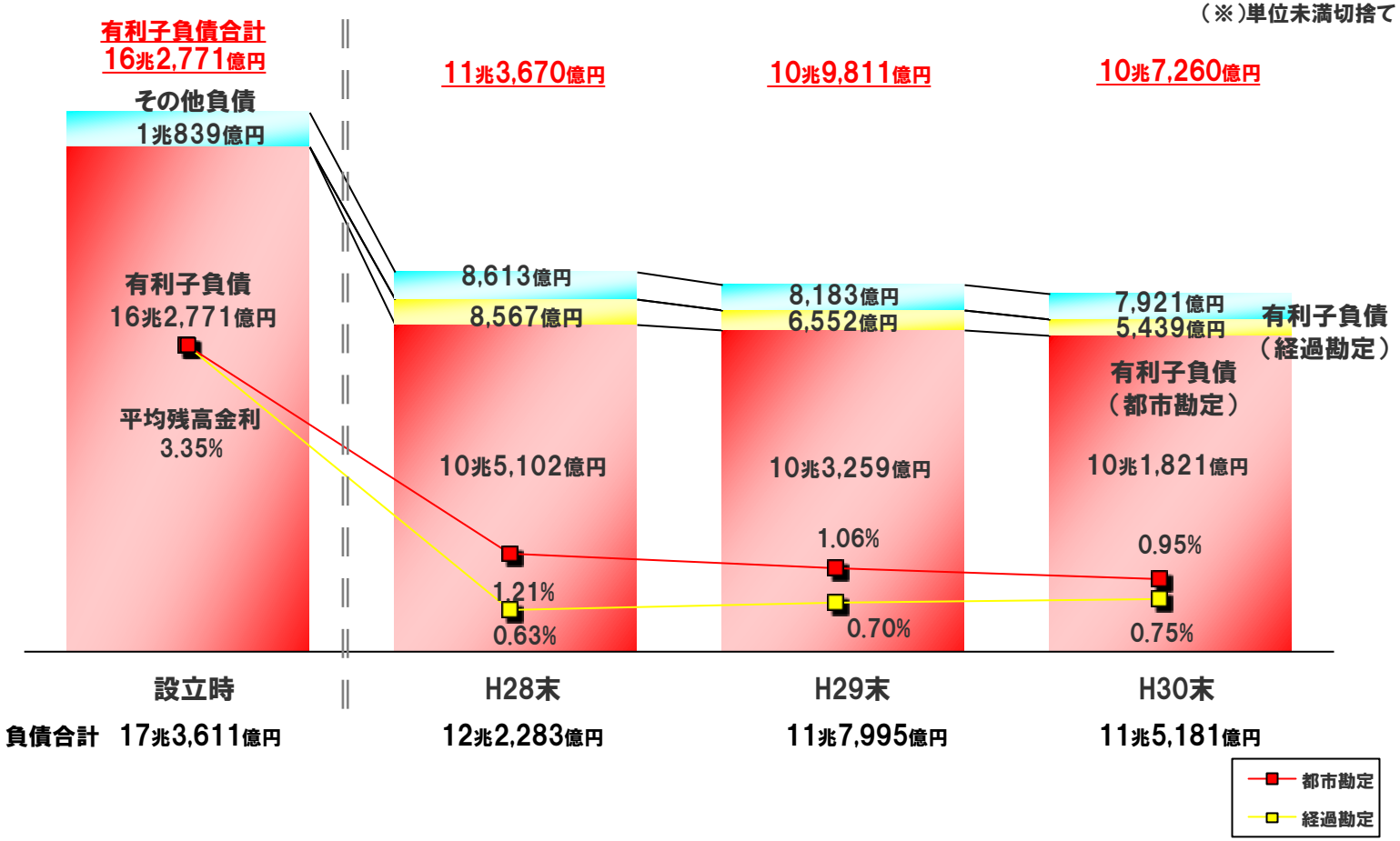


（※）単位未満切捨て

（２）負債の状況

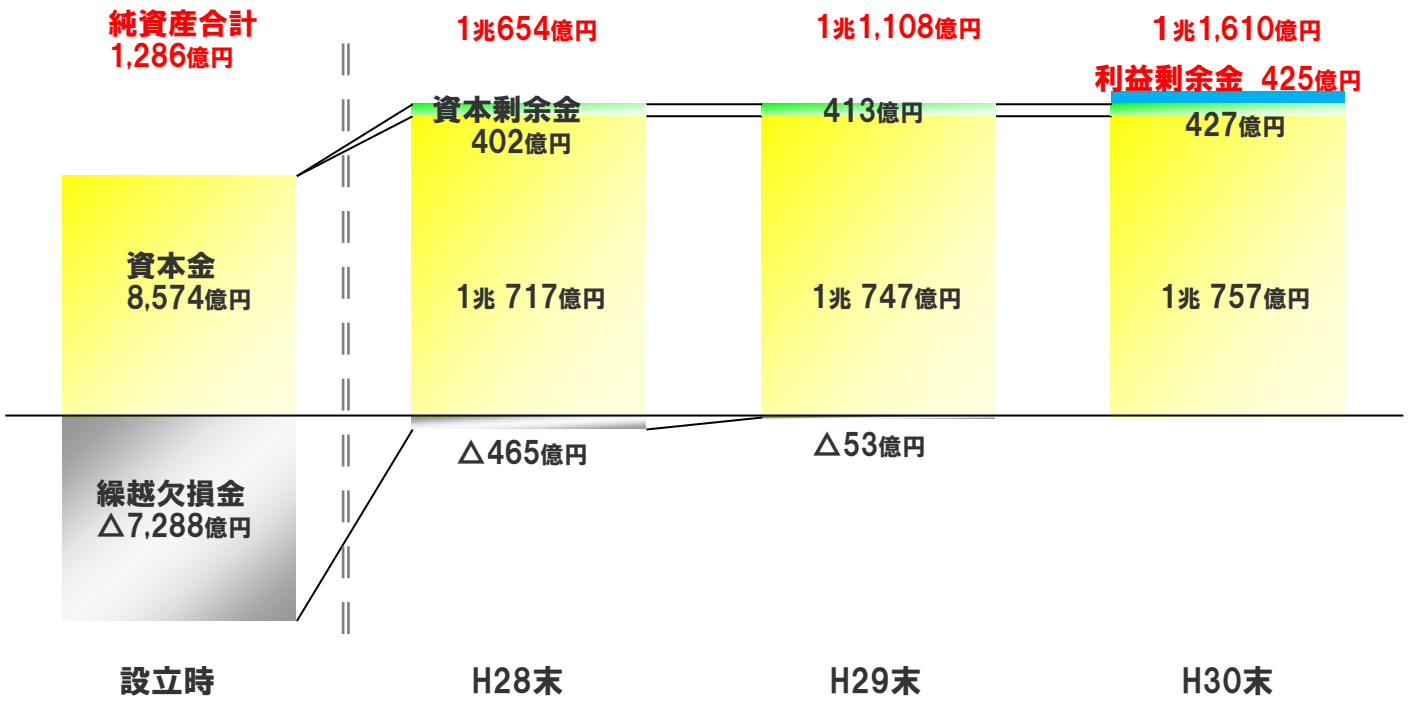
有利子負債は、当年度においても着実に削減を進め、前年度末に比べ約2,500億円減少し、約10.7兆円。

（※）単位未満切捨て



（３）純資産の状況

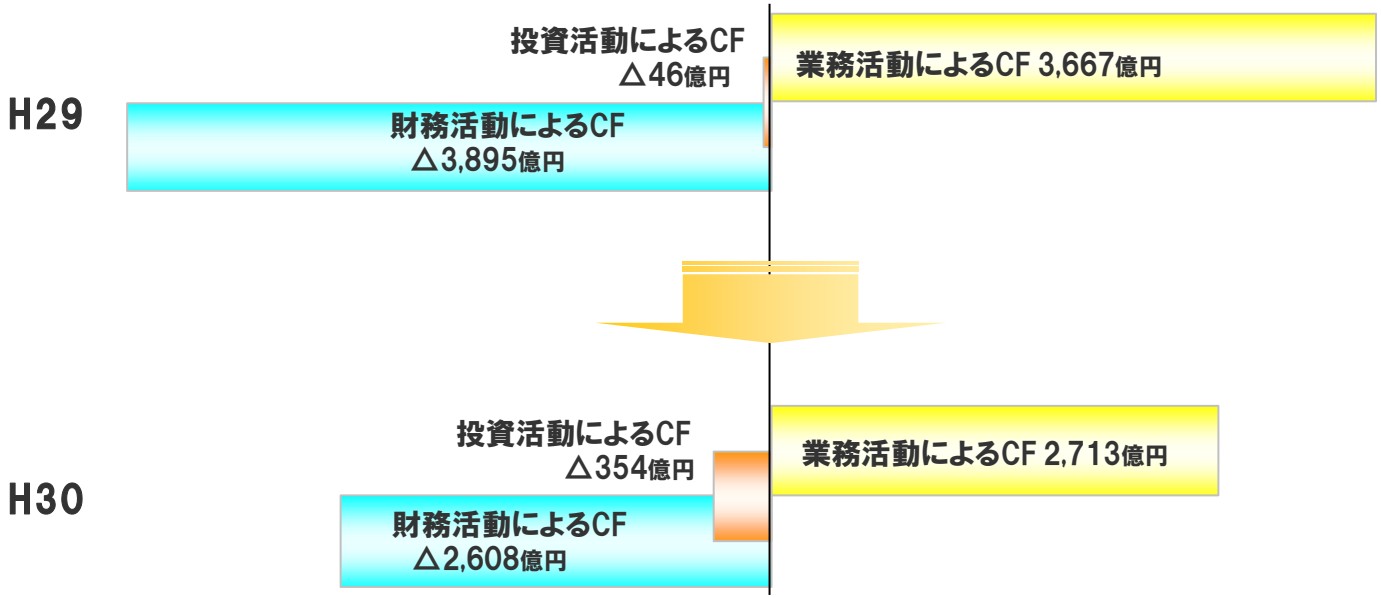
当期純利益を478億円計上した結果、繰越欠損金は解消し、利益剰余金を**425億円**計上。



（※）単位未満切捨て

（４）キャッシュ・フローの状況

業務活動によるキャッシュ・フローは、家賃収入や敷地譲渡収入等を確保した結果、約2,700億円を計上し、有利子負債の削減に寄与。



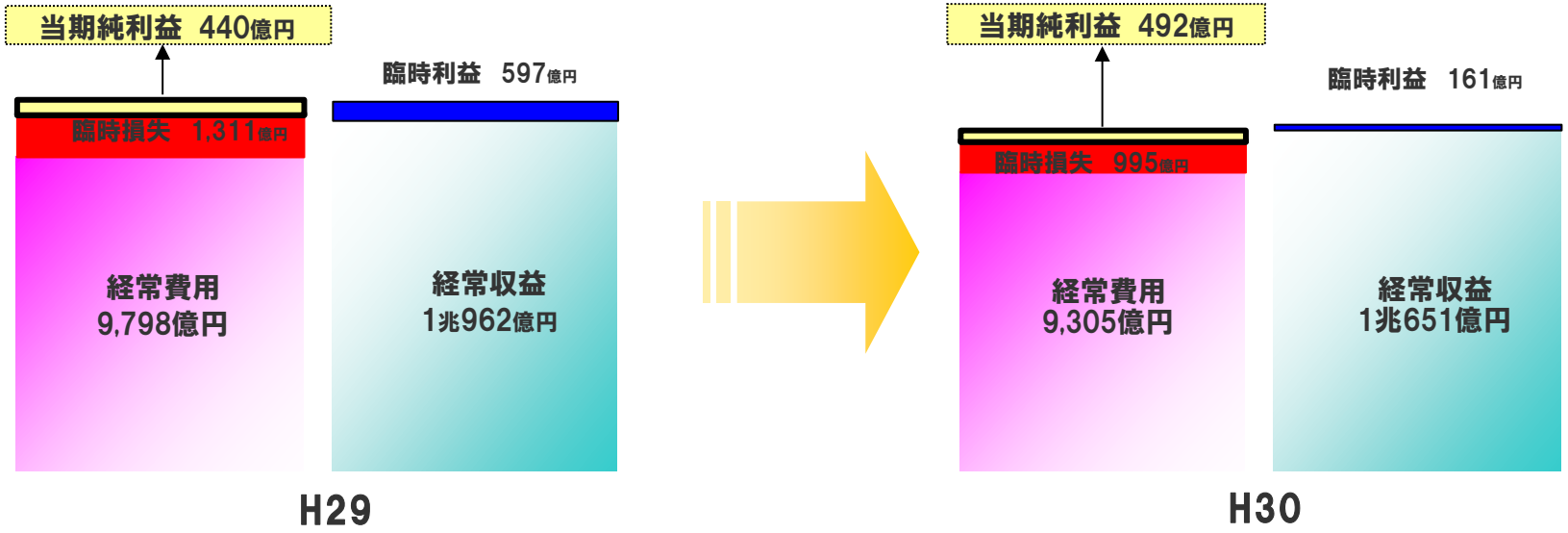
（※）単位未満切捨て

3　連結財務諸表（損益）

特定関連会社（3社）及び関連会社（10社）の計13社について、全部又は持分法連結を行った結果、**連結当期純利益は492億円**。

機構単体利益	412億円
関係会社利益	56億円
連結修正	△29億円

機構単体利益	478億円
関係会社利益	73億円
連結修正	△59億円



（※）単位未満切捨て